

入所施設向け 業務継続計画



地震編



もくじ

使い方	02
被害想定と体制	03
方針と目標	04
タイムライン	BCP タイムライン 05. 06
事前行動 初動対応	災害対策本部 07
	情報収集と危険物の除去 08
	停電の対応 09
	断水の対応 10
	ガス停止の対応 10
初動対応	職員の参集 11
	安否報告 11
	安否確認と集計 12
	被害状況確認 12
事前行動	避難準備 13
	避難開始 14
初動対応	ケガ人の対応 15
	服薬介助 15
	業務縮小 16
	断水時の飲水 16
継続対応	ライフライン停止時の食事 17
	断水時の排泄 17
	ライフライン停止時の保清 18
	福祉避難所（地域連携） 18
	物資管理・調達（他施設連携） 19
	外部への応援依頼（他施設連携） 19
	ライフライン停止時の請求 20
	ライフライン停止時の支払い 20
復旧	設備、備品等修繕 21
	補償 21
運用	運用 22

使い方

解説版（別冊）を見ながらblankフォーム（本冊子）に記入していくと、オリジナルのBCPが策定でき、そのまま施設のBCPとしてお使いいただけます。様式は各自治体の発行するハザードマップやそれぞれ既存の書式をそろえ、本冊子に添付してください。



（例）

NO	様式名
様式 1	ハザードマップ
様式 2	備品一覧
様式 3	職員連絡先一覧
様式 4	利用者連絡先一覧
様式 5	関係者連絡先一覧
様式 6	年間計画

被害想定と体制



被害想定

	リスク	備考
最大震度	震度5以上	
築年数 (耐震化工事)	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 56 年以降 <input type="checkbox"/> 昭和 56 年以前 →耐震化工事 <input type="checkbox"/> 未実施	
津波	<input type="checkbox"/> あり(浸水深さ m) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
土砂災害	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
液状化	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
停電	<input checked="" type="checkbox"/> あり(3日) <input type="checkbox"/> なし	
断水	<input checked="" type="checkbox"/> あり(3日) <input type="checkbox"/> なし	
ガスの停止	<input checked="" type="checkbox"/> あり(3日) <input type="checkbox"/> なし	
通信不安定	<input checked="" type="checkbox"/> あり(3日) <input type="checkbox"/> なし	
人手不足	<input checked="" type="checkbox"/> あり(6割) <input type="checkbox"/> なし	

体制

	役職	主な役割
委員長	施設長	全体の方針や計画の最終決定
委員	花の里 1 階管理者	介護全般
委員	花の里 2 階管理者	介護全般
委員	ふるさと 1 階管理者	介護全般
委員	ふるさと 2 階管理者	介護全般

地震災害対策の基本方針、復旧の目標時期とレベルは下記の通りです。この基本方針に則り、全ての行動を進めます。また想定外の事態が発生した際の判断の指針として活用します。

災害時の基本方針

- ・ 入居者の生命と生活を守る
- ・ 職員の生命と生活を守る

復旧の目標時期とレベル

業務	時期	レベル	備考
飲水	3時間	5回/日	備蓄水
バイタル測定	3時間	1回/日	体調不良者は適宜
排泄介助	3時間	適宜	パット類を使用
食事	6時間	3回/日	備蓄食
服薬介助	6時間	必要時	備蓄薬
清潔保持	3日	1回/週	おしり拭き等を使用

復旧の手当の確認

項目	具体手当
資金調達	現金、貸付、補助金、その他
設備・備品等修繕	別紙参照（業者一覧）
職員数の確保	出勤可能者の確認

BCPタイムライン

BCP発動基準

分類	業務	参照ページ等	発生前		発生直後				
			南海トラフ 臨時情報等	緊急 地震速報	10分	30分	1時間	2時間	3時間
被害想定	土砂、津波、液状化、 建物の倒壊（耐震性：低）	3							
	停電	3							
	ガス停止	3							
	断水	3							
	職員 2 割減少	3							
事前行動	情報収集	12							
	危険物除去	12							
	災害対策本部設置	11							
	シフト調整	—							
	ライフライン停止に備える	13・14							
	避難準備	15・16							
	避難開始	15・16							
初動	公用車避難	15・16							
	安全の確保	—							
	安否確認・集計	15・16							
	怪我人処置	19							
	被害状況確認	16							
	発電機稼働	13							
	吸引再開	13							
継続	在宅酸素再開	13							
	排泄介助再開	21							
	関係者等へ状況報告	—							
	飲水介助	20							
	食事介助	21							
	服薬介助	19							
	保清介助	22							
	物資管理・調達	23							
	福祉避難所設置	22							
	外部応援依頼	23							
	請求	24							
復旧	支払い	24							
	資金調達等	27							
	設備・備品等修繕	25							

タイムライン

事前行動

初動対応

継続対応

復旧

運用



解説版

→P05～08

※青字の業務は施設の実態に応じて記載

6時間	フェーズ1					フェーズ2		フェーズ3		フェーズ4		主な 担当班名
	12時間	18時間	24時間	2日	3日	5日	7日	14日	1か月	2か月	3か月	
												施設長
												施設長
												施設長
												各管理者
												各管理者
												各管理者
												各管理者
												各管理者
												施設者
												各ユニット
												施設長
												各ユニット
												各ユニット
												各ユニット
												各ユニット
												各ユニット
												施設長
												事務
												事務
												施設長
												施設長

タイムライン

事前行動

初動対応

継続対応

復旧

運用

災害対策本部



設置するタイミング(下記のいずれかに該当する場合は設置)

- ・ 南海トラフの臨時情報が発表された場合
- ・ 倉敷市で震度5強以上の地震した場合
- ・ ライフライン(電気・ガス・水道)のいずれかが停止した場合
- ・ その他、災害対策本部の設置が必要な場合

設置する場所(浸水や土砂災害の危険がある施設は、危険なフロアに設置しない)

花の里 . . . 2階玄関付近
ふるさと . . . 多目的ホール

災害対策本部における必要な物品と保管場所

物品	個数	保管場所
市内の地図と近隣地図	各1枚	花の里...2階玄関 ふるさと...多目的ホール
施設見取り図	1枚	
模造紙	10枚	
ランタン	10個	
テレビ・ラジオ	1台	
ノートPC	1台	
発電機(もしくはポータブル電源)	1台	
コードリール	1つ	
BCP や名簿等	—	

指揮命令系統



情報収集



南海トラフ地震に関する臨時の情報が発表された場合、その内容によって地域にさまざまな影響が及びます。以下、情報を随時収集し、その対応を災害対策本部にて検討します。

収集する情報等	使う物品	物品の保管場所	担当者
● 避難に関する情報 (地域や対象、避難場所など)	テレビ ラジオ パソコン タブレット スマホ 等	花の里…2階玄関 ふるさと…多目的ホール	各管理者
● 公共交通機関の情報 (電車やバスの運行について)			
● 物資について (取引先などに確認、必要物資は 早めの確保検討)			
● 学校の休校など (職員や家族への影響)			
実践力アップのポイント 自治体公式のLINE や防災メールは無料で自動的に情報が送られてきます。運営コストが低くスピードも速いため、職員に登録してもらうだけで情報収集と共有ができます。(ただし、勤務中は携帯を確認できないため、担当者が職員に共有することは必要)。			

危険物の除去等



実施すること	備考
屋内外にある、転倒すると被害が出るものへの対応	固定、倒れても被害がない場所へ移動、あらかじめ倒しておく。
避難経路の整理	地震発生後の避難を想定して、避難経路を片付ける。
揺れによるエレベーター停止に備える	使用制限をしたり、エレベーター内に水や食料、防災トイレ(小さいもの)を用意するなど。

タイムライン

事前行動

初動対応

継続対応

復旧

運用

停電の対応



南海トラフ地震臨時情報が発表された時には、地震による停電に備え、下記物品の用意や手順の確認をします。また、突発の地震発生時も下記の通り対応します。

停止する機器	停止による影響	対応	物品等
照明	暗い・不安増大 事故のリスク大	ランタン	各10個
		照明（発電機）	購入検討
エレベーター	閉じ込められる		
	人や物の移動が困難	担架、コンテナ等活用	購入検討
冷暖房	熱中症	扇風機（発電機）	購入検討
	低体温症	電気毛布（発電機） 石油ストーブ	購入検討
内線	職員間の連絡効率の悪化	無線機 発電機接続	必要なし
PC	情報収集、発信不可。 請求、支払い業務不可	発電機 太陽光発電 蓄電池	スマホ等で対応
調理器具	調理不可	※ガス停止参照	カセットコンロ
上水ポンプ	断水	※断水参照	備蓄水
浄化槽	ポンプ停止により機能停止	排水に注意	

※青字の箇所は施設の実態に応じて記載

断水の対応



南海トラフ地震臨時情報が発表された時には、地震による断水・ガス停止に備え、下記物品の用意や手順の確認をします。また、突発の地震発生時も下記の通り対応します。

影響が出る業務	影響	対応	物品等
飲水 調理	脱水 栄養不良	備蓄水 ※必須	各18ケース／3日分 1人1日3ℓとして算出
		断水前に貯水	
医療物品洗浄	不衛生	備蓄水	
食器洗い	不衛生	使い捨て食器	100食分／3日分 (椀、コップ、箸など)
		食器+ラップ	
排泄介助	トイレ洗浄不可	防災トイレ 生活用水活用	Pトイレ、ゴミ袋、パットなど を使用
	陰部洗浄不可	生活用水活用	おしり拭き 在庫
洗濯 <small>※長期間の断水の場合</small>	不衛生	替えの衣類 (特に下着)	パット、紙パンツなど
入浴介助	不衛生 感染症	清拭対応(生活用水、 ウエットティッシュ 活用)	おしり拭き使用

生活用水

賞味期限切れの飲料水や断水前にお風呂に水を貯める方法も有効。過去の災害では近くの川や湧き水を活用した例もあります。その場合は容器の事前用意が有効です。



ガス停止の対応



影響が出る業務	影響	対応	物品等
調理	栄養不良	カセットコンロ	各72本 1人1日1本として算出
入浴介助	※断水参照	※断水参照	※断水参照

タイムライン

事前行動

初動対応

継続対応

復旧

運用

職員の参集



地震発生時に勤務外の職員が実施すること

地震発生後は通信が不安定となるため、事前に職員の参集のタイミングを決めておくことが必須となります。職員の参集の基準は役職や雇用形態別、また職場までの距離で決めることが一般的です。また、夜間の参集や沿岸部で津波のある施設への参集は、タイミングによっては職員のリスクが増えるため、例外規定などを設け、職員の命を守る必要があります。

○：出勤 △：自宅待機

	南海トラフ地震 臨時の情報	倉敷市で震度5弱	倉敷市で震度5強以上
施設長	○	○	○
各管理者	○	○	○
正職員	△	○	○
パート職員	△	△	△
備考	震度5弱以下でもライフライン停止を伴う場合は震度5強以上として参集		
例外規定	以下の状況では参集を見合わせる ・夜間の地震発生で参集が危険な場合 ・参集に沿岸部を通らなければならず津波が予想される場合 ・自宅損壊や家族がケガなどをした場合 ・その他、参集に危険が伴うと判断した場合		

安否報告



参集と同様、発生時にどこに何を報告するかをあらかじめ決めておきます。

タイミング	倉敷市で震度5強以上の地震が発生した場合		
連絡方法	LINE		
宛先			
報告内容	①被災状況(自宅や家族) ②出勤可否 ③その他必要な事項		

タイムライン

事前行動

初動対応

継続対応

復旧

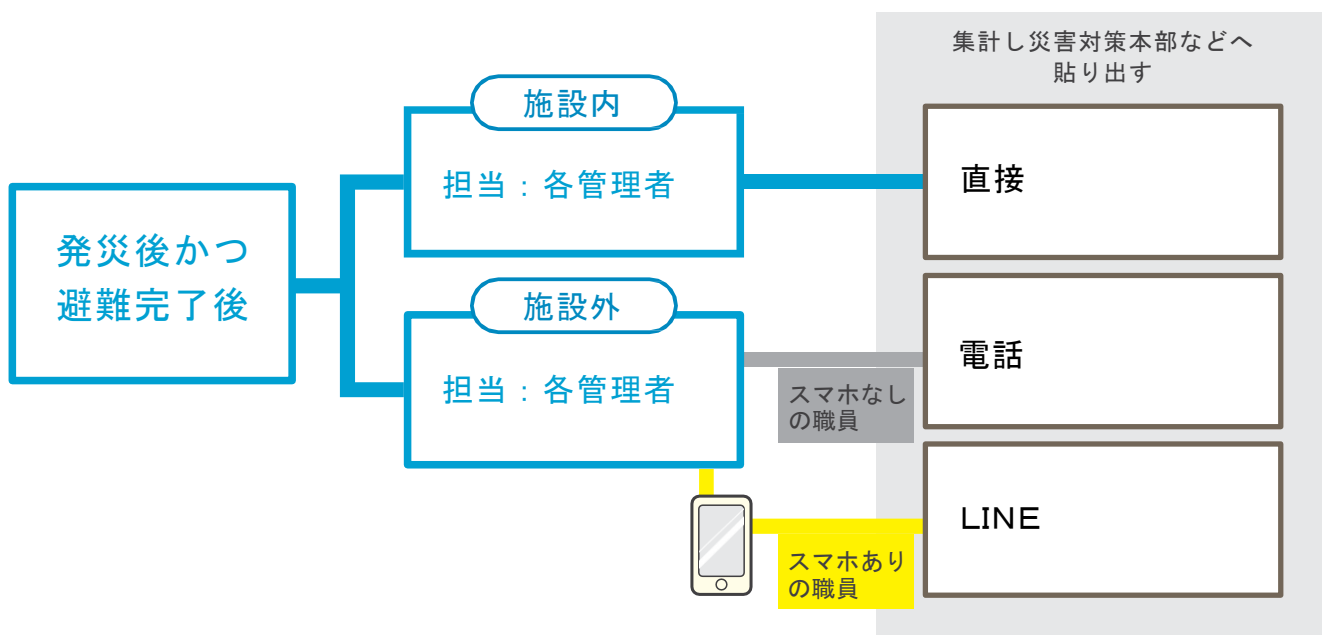
運用

安否確認と集計



解説版
→P16

安否確認は主に発災後に安全が確保できた時点で行います。



安否確認の内容

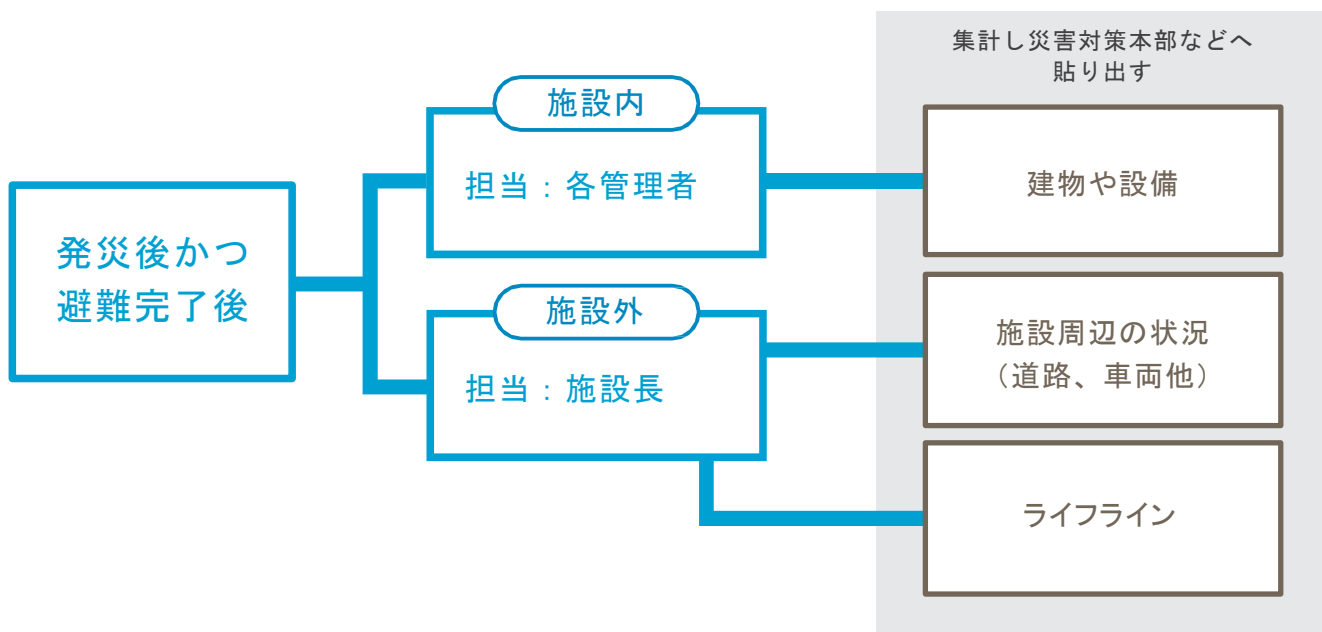
所在確認、ケガの有無や程度（施設外は被災状況や出勤可否なども確認）

被害状況確認



解説版
→P16

被害状況の確認も発災後、避難を完了したあとに行います。



タイムライン

事前行動

初動対応

継続対応

復旧

運用

南海トラフ地震の発生により施設の倒壊、津波、土砂災害などの影響があり避難が必要な施設は、臨時の情報により避難準備を開始します。

避難準備の タイミング

今のところ外部避難はしない

項目	備考
持ち出し品の用意	医療機器、薬、情報など
避難場所の確認	受け入れ態勢や環境などの確認
避難経路の確認	避難経路の安全の確認
避難方法等の確認	車両の用意、段取り、応援要請
データのバックアップやデータの持ち出し	可能なら日頃から実施 クラウドへの保存などが効果的
公用車、職員車両移動	駐車が安全な場所へ移動

避難場所の検討チャート

- ① 施設は昭和 56 年以前に建てられ耐震化工事がなされていない。
- ② 地震後の津波により建物が浸水する可能性がある。
- ③ 土砂災害特別警戒区域や警戒区域で、地震後に土砂災害の被害を受ける可能性がある。

はい

施設が被災し、長期間滞在することが難しいことが予想されるため、あらかじめ数日～数週間程度避難できる場所(施設など)を検討する必要がある。

- 避難先候補の重要な条件
 - ・ 安全な立地にある
 - ・ バリアフリー
 - ・ 受け入れスペースがある

いいえ

余震などにより一時的に施設外に避難することはあっても、建物の被害が少なく、長期的には今いる施設で過ごすことができる可能性が高い。

避難開始



解説版
→P18

南海トラフ地震の発生により施設の倒壊、津波、土砂災害などの影響があり避難が必要な施設は、臨時の情報により避難を開始します。

避難開始の
タイミング

今のところ外部避難はしない

避難場所	
避難経路	
避難方法	
その他	

夜間帯の避難

夜間帯の避難はリスクが高いため、夜間中に避難準備をして、明るくなってから避難を開始します。もしくは職員の参集状況により避難を実施します。

事前避難について

南海トラフ地震臨時情報が出たとしても、必ず地震が発生するとは限らず、避難によって環境が変化することで利用者の体調等に影響する場合があります。事前避難に迷った場合は、①避難がより困難な人（医療的ケアを必要とする人、より重度の障害がある人）のみ数名を事前に避難させる②軽度で自宅に一時引き取りが可能な人を帰宅させる③ショートステイを休止する、これらを実施することで施設全体の入居者を減らすことができ、実際の発災時の避難の手間を少なくすることができます。

タイムライン

事前行動

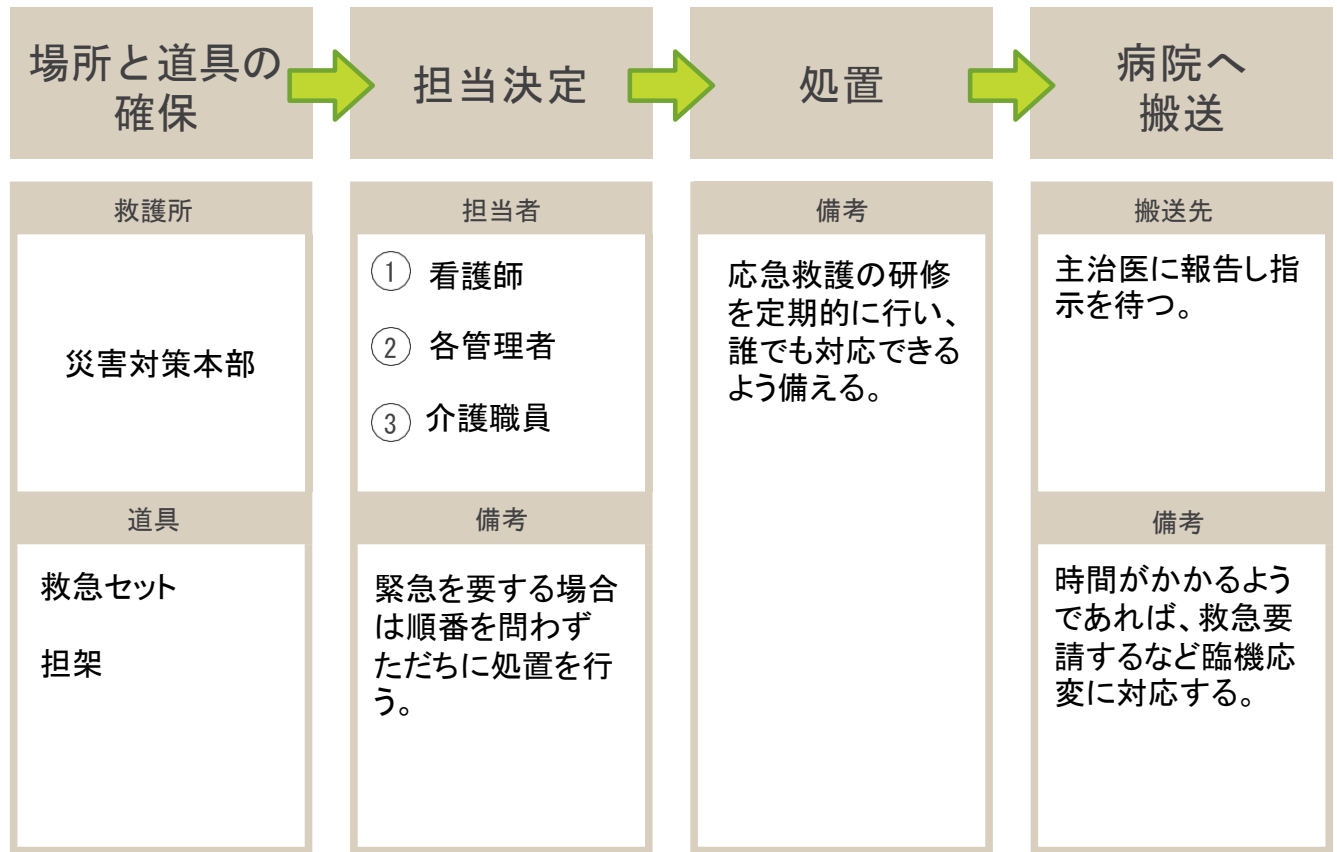
初動対応

継続対応

復旧

運用

ケガ人の対応



服薬介助



優先する服薬など	
①	
②	
③	
④	
⑤	
●	人手に余裕がない場合などに、一時的に省いてもいい薬



タイムライン

事前行動

初動対応

継続対応

復旧

運用

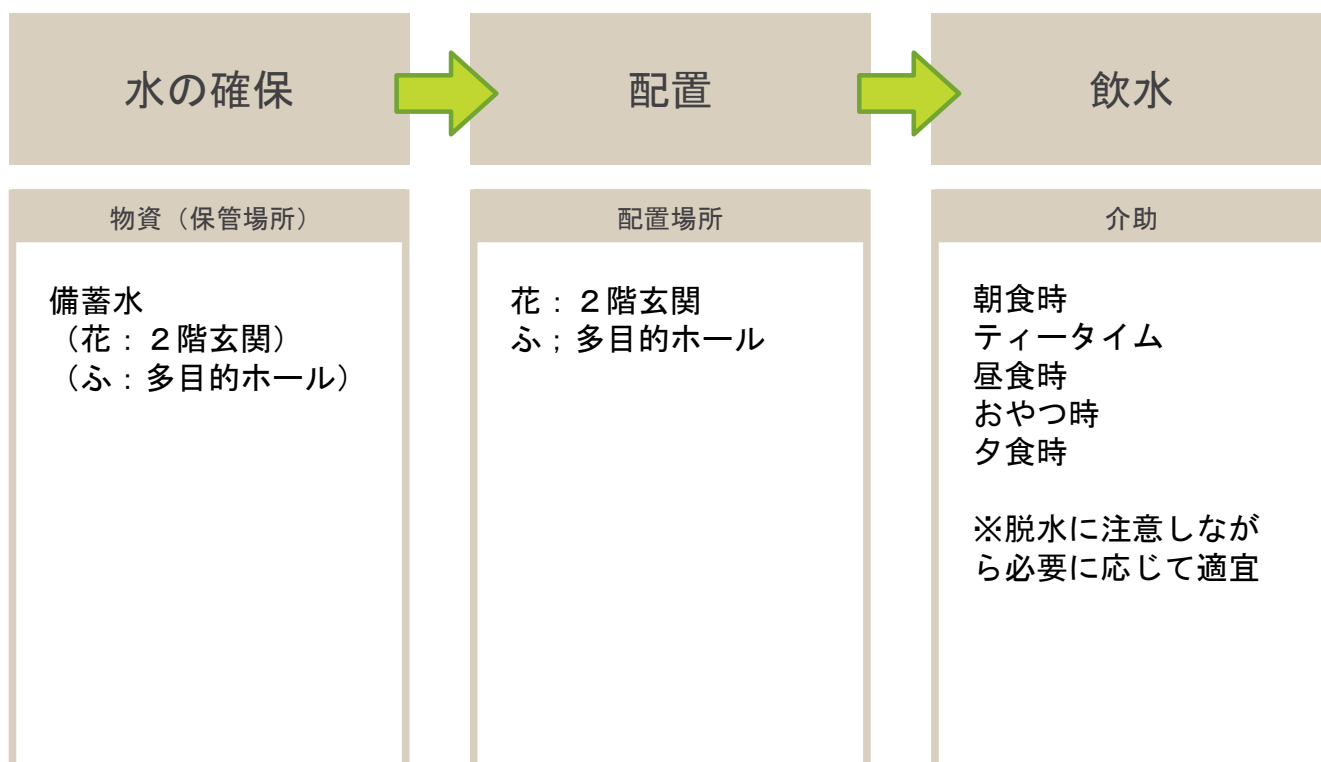
業務縮小



発災後は職員の数によって業務を縮小して対応します。
 下記はあくまで目安としてその時の状況に合わせ臨機応変に対応します。

時間	通常	職員 3 割減のケア	職員 5 割減のケア
6:00	起床	起床	起床
7:00	朝食、服薬	朝食、服薬	朝食、服薬
8:00	口腔ケア、排泄	口腔ケア、排泄	口腔ケア、排泄
9:00	体操		
10:00	ティータイム、入浴	ティータイム、入浴	ティータイム
11:00	入浴、リハビリ	入浴	
12:00	昼食、服薬	昼食、服薬	昼食、服薬
13:00	口腔ケア、排泄、臥床	口腔ケア、排泄、臥床	口腔ケア、排泄、臥床
14:00	離床	離床	離床
15:00	おやつ	おやつ	おやつ
16:00	体操		
17:00	夕食、服薬	夕食、服薬	夕食、服薬
18:00	口腔ケア、排泄	口腔ケア、排泄	口腔ケア、排泄
19:00	就寝	就寝	就寝
21:00	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転
00:00	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転
03:00	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転
05:00	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転

断水時の飲水



タイムライン

事前行動

初動対応

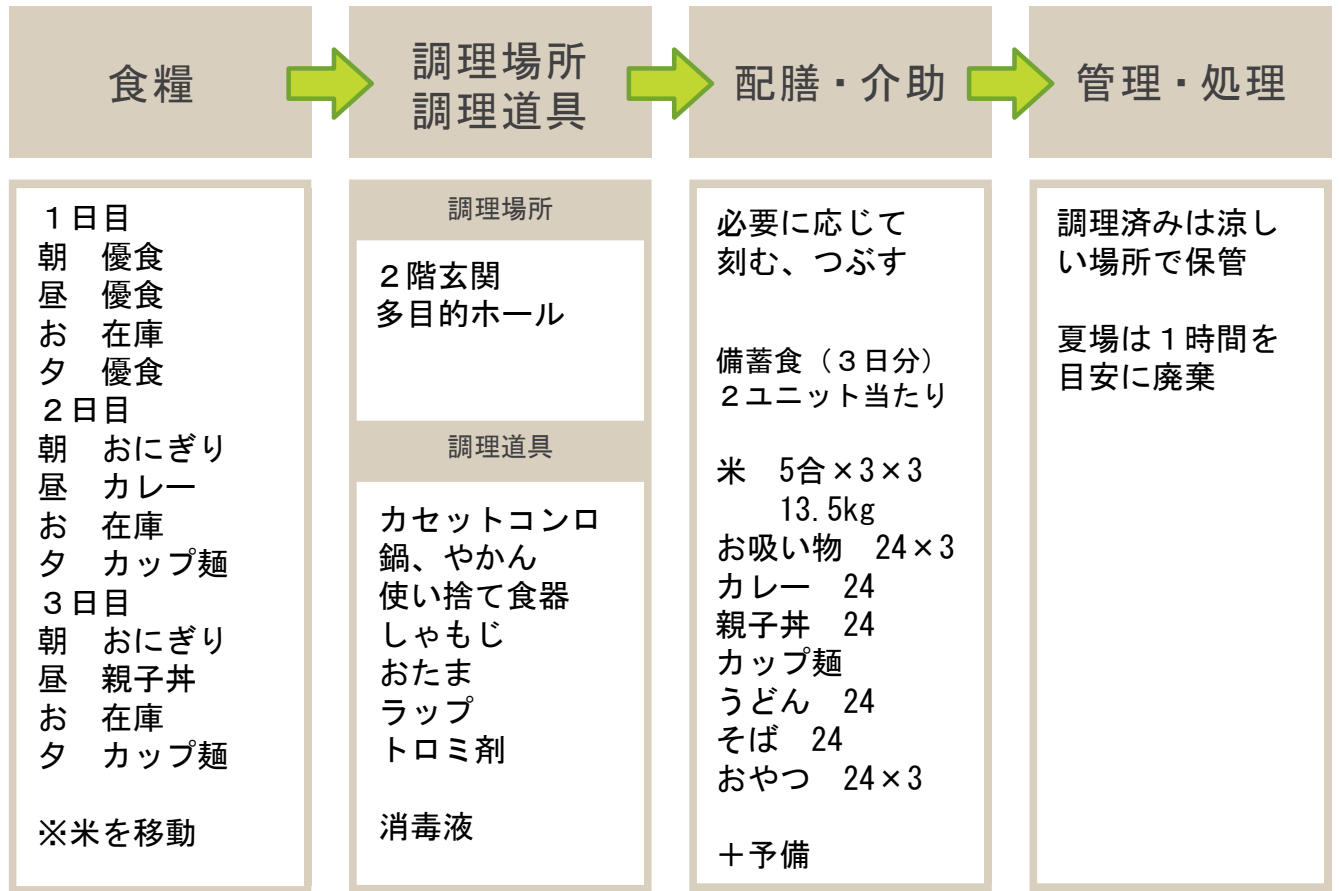
継続対応

復旧

運用

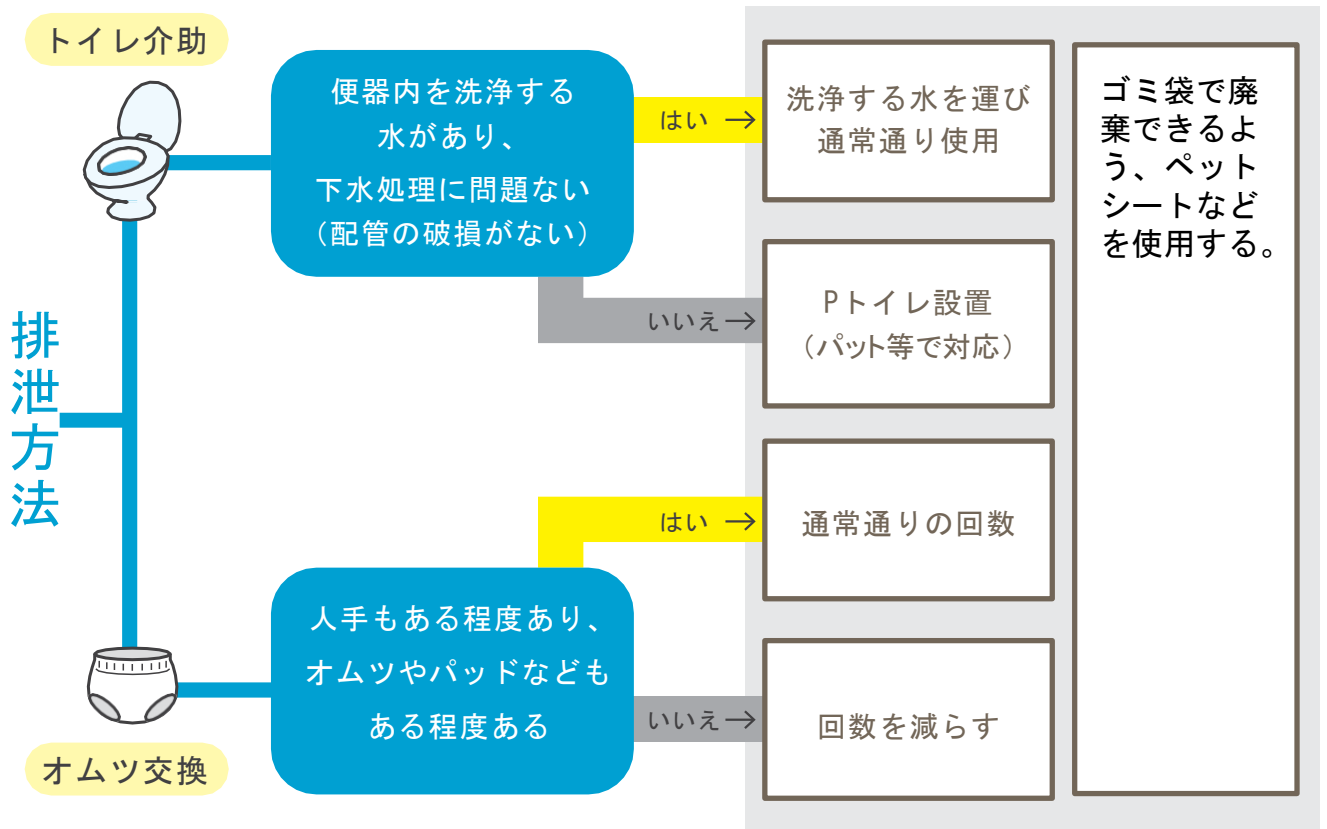
ライフライン停止時の食事

解説版
→P21



断水時の排泄

解説版
→P21



タイムライン

事前行動

初動対応

継続対応

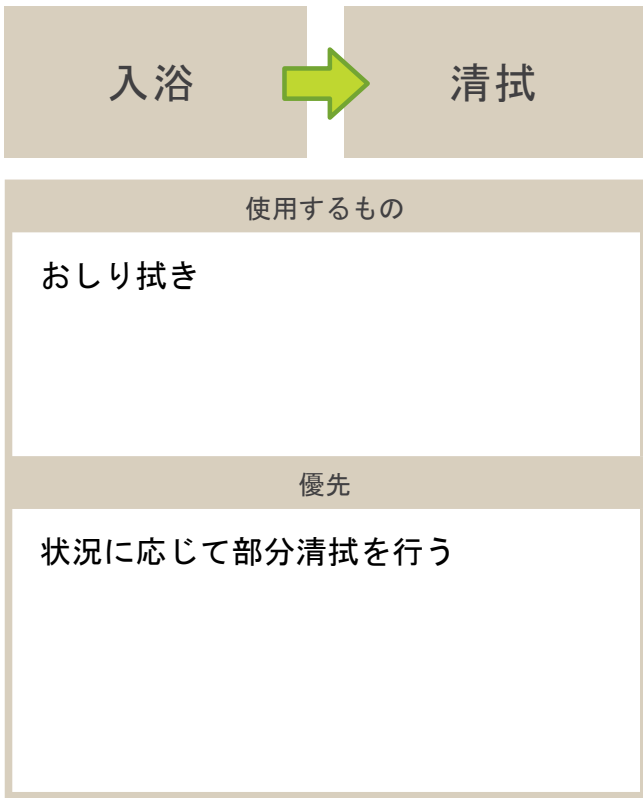
復旧

運用

ライフライン停止時の保清



解説版
→P22



人手や物資が不足している場合は、全身ではなく、汚れやすい部分を優先した清拭に対応します。



タイムライン

事前行動

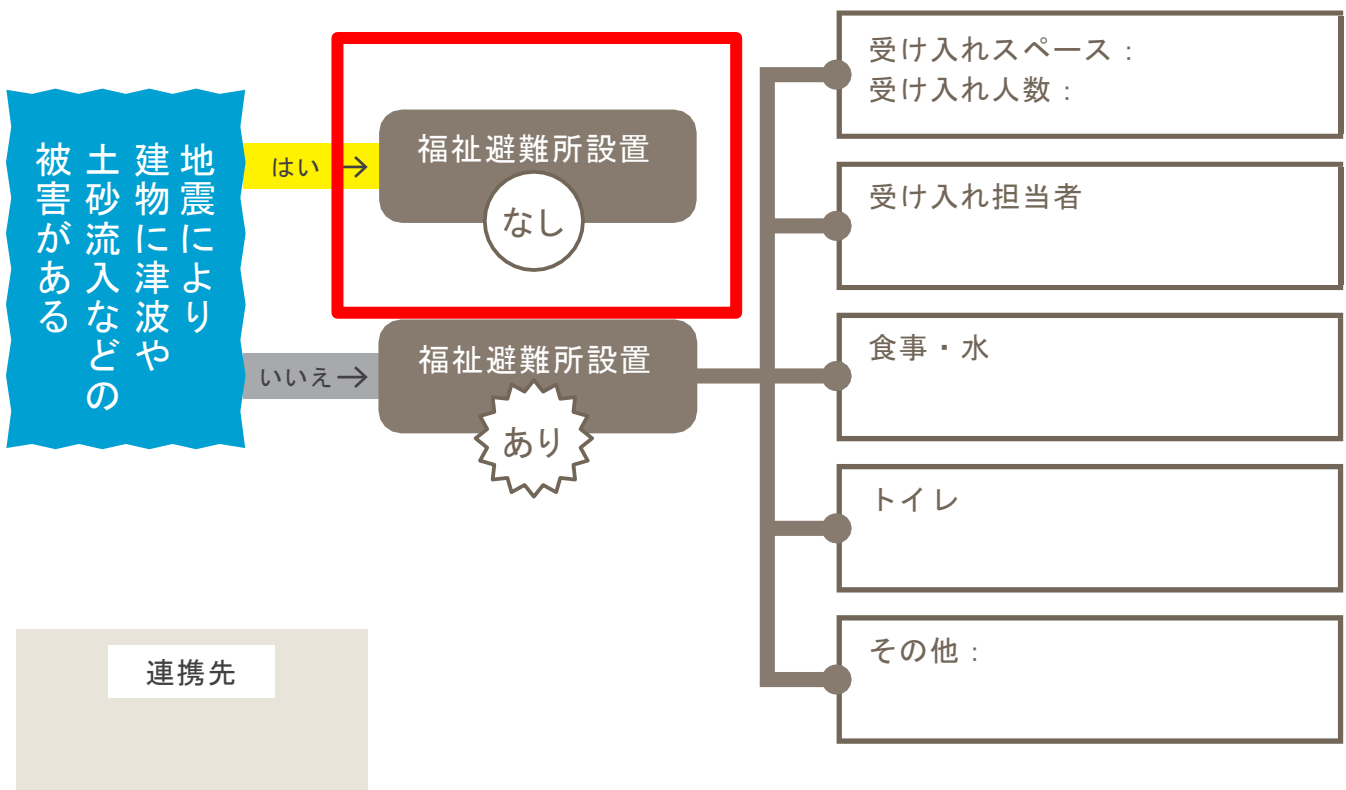
初動対応

福祉避難所（地域連携）



解説版
→P22

施設の被害がない、もしくは軽微なときに受け入れを実施します。

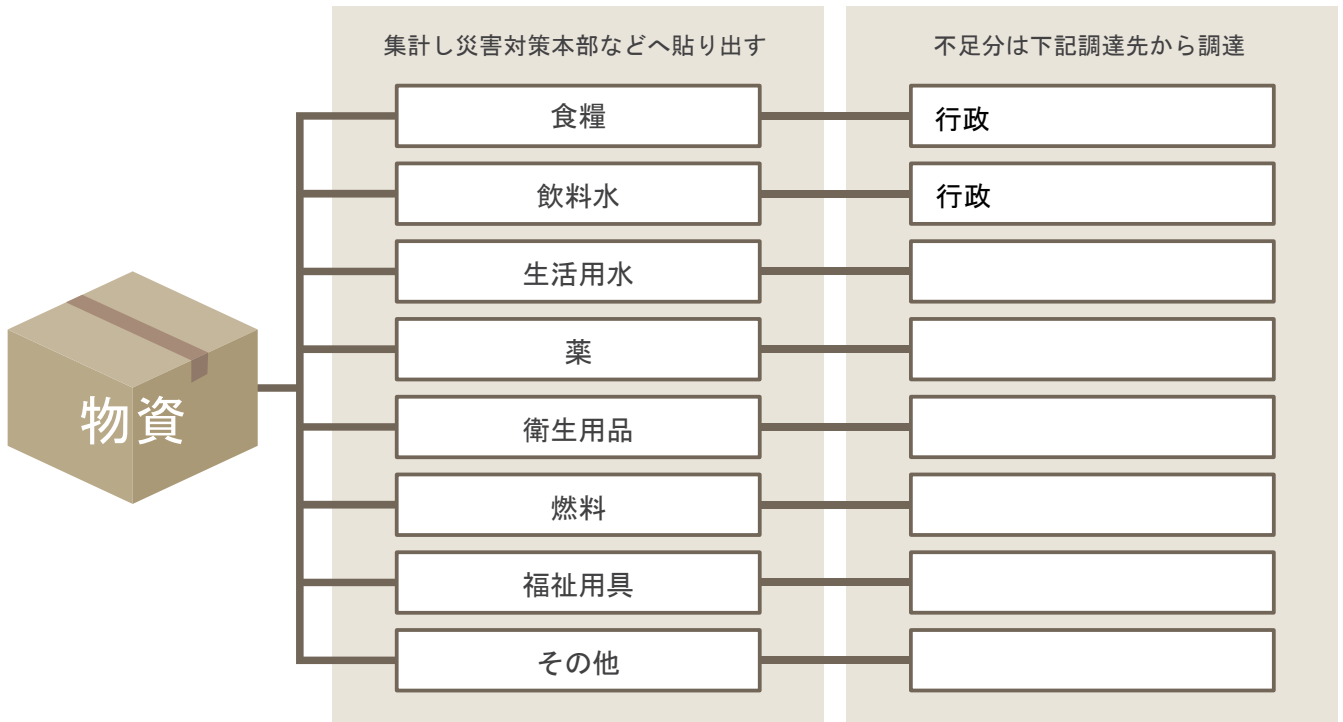


物資管理・調達（他施設連携）



解説版
→P23

物資量は災害対策本部などに表を貼り出して、現在の数量を把握し、なくなる前に調達します。



タイムライン

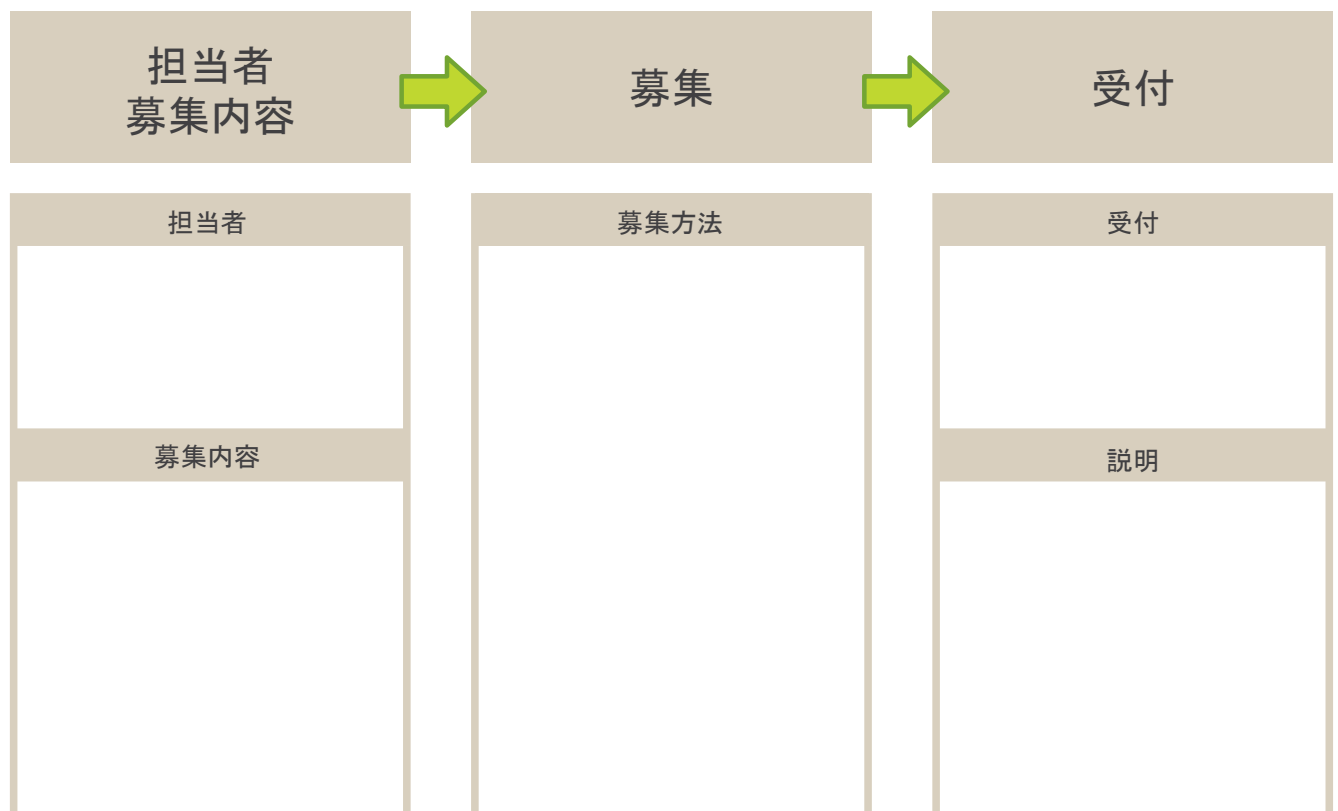
事前行動

初動対応

外部への応援依頼（他施設連携）



解説版
→P23



継続対応

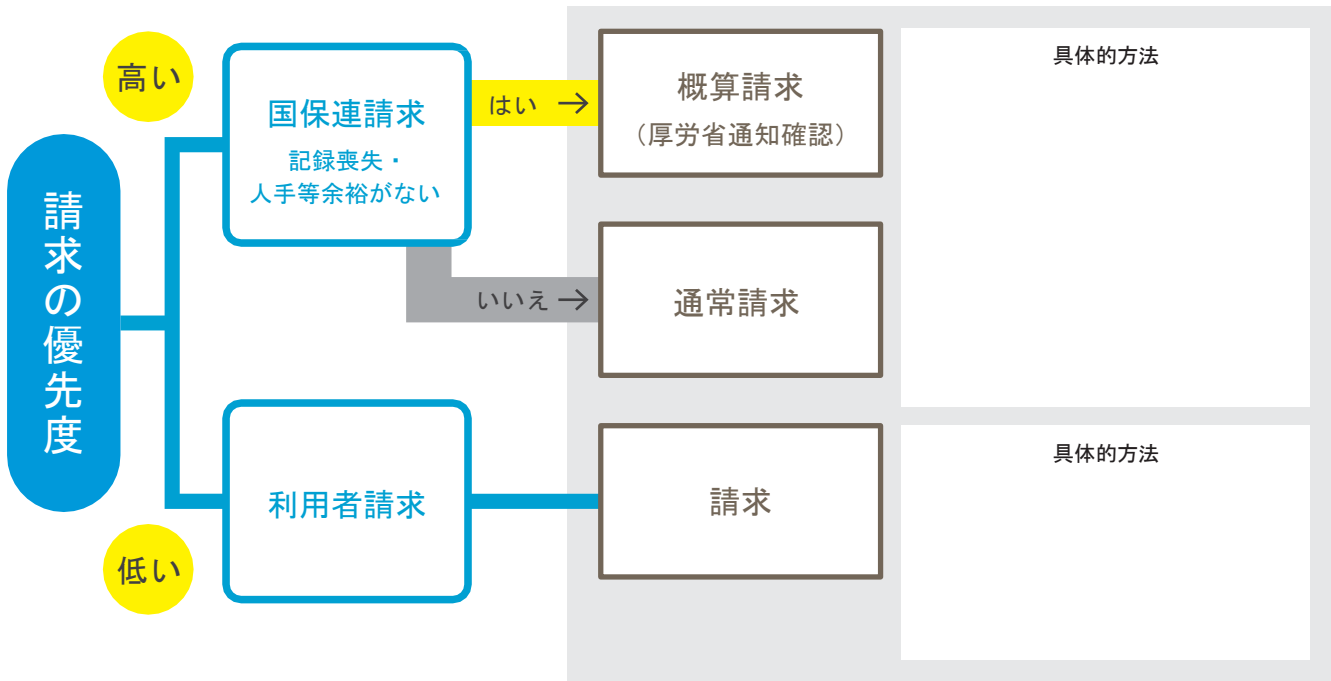
復旧

運用

ライフライン停止時の請求



解説版
→P24



タイムライン

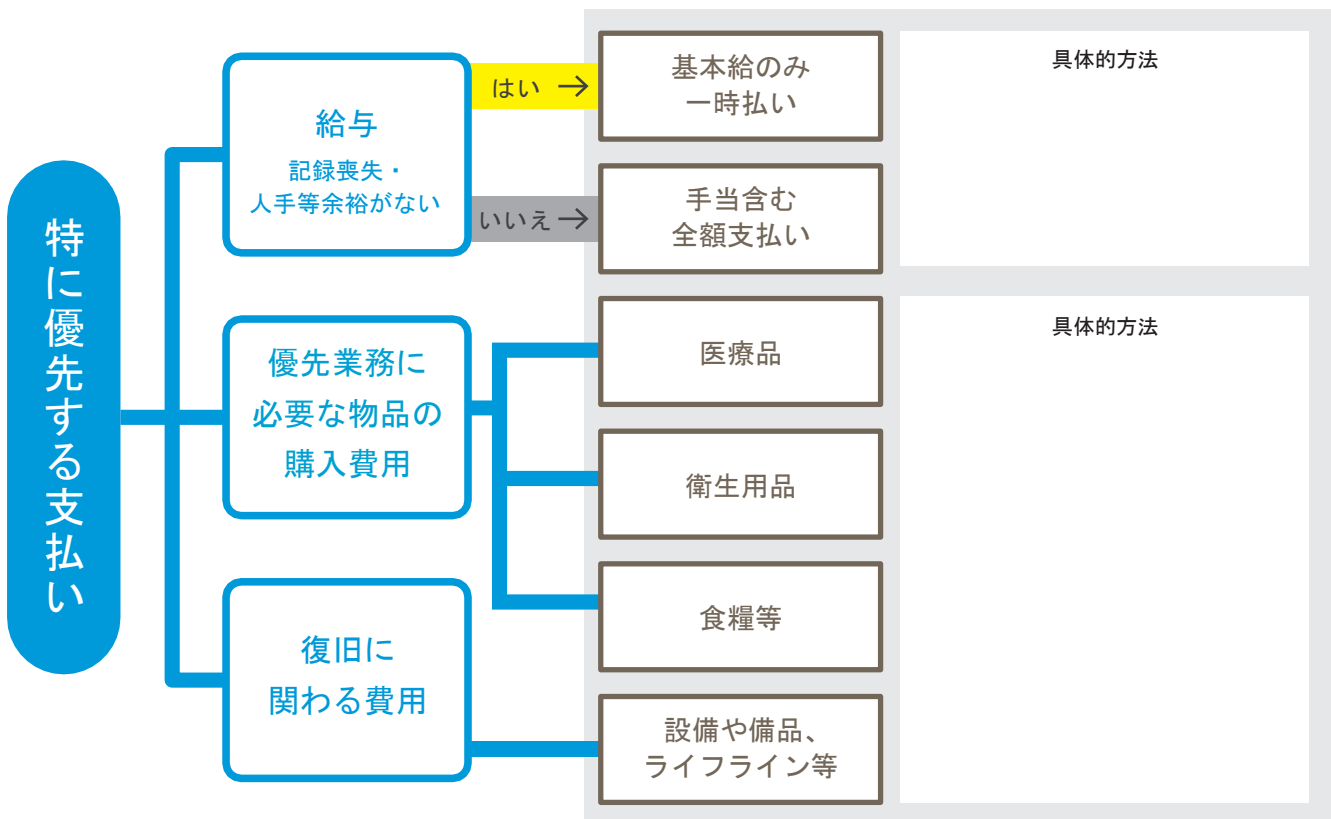
事前行動

初動対応

ライフライン停止時の支払い



解説版
→P24



継続対応

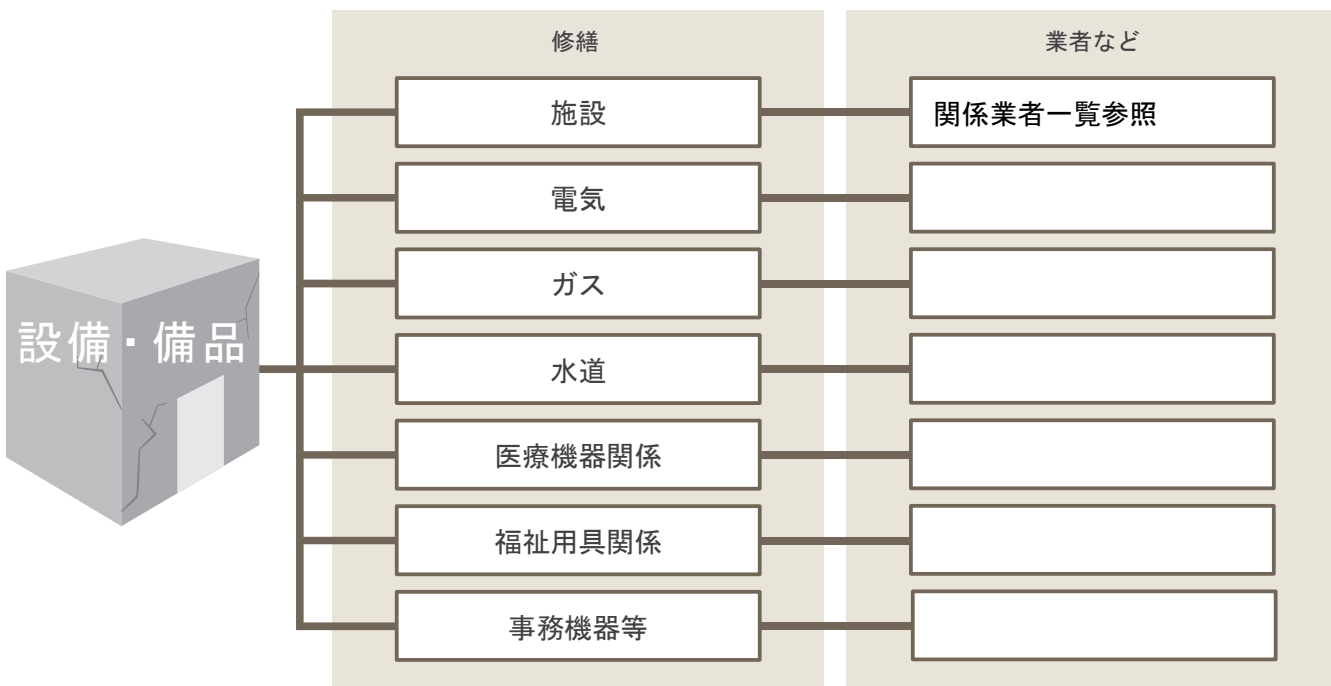
復旧

運用

設備、備品等修繕

解説版
→P25

補助金や損害保険との兼ね合いがあるため、修繕や廃棄の前に必ず確認し、必要に応じて写真を撮るなどして記録します。



補償

解説版
→P25

実際の被害状況に合わせて活用します。

		想定被害	想定被害額	手当の有無	手段(保険、預金等)	金額
設備等						
運営						
		合計額				
		差し引き必要額				

タイムライン

事前行動

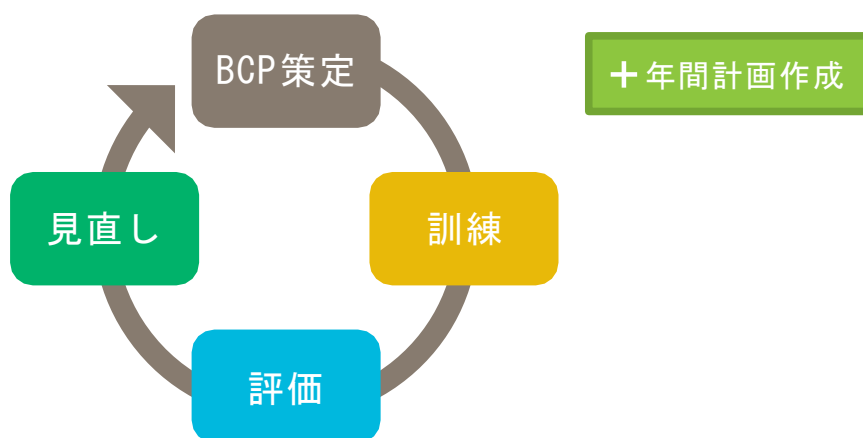
初動対応

継続対応

復旧

運用

BCP 策定後は、年間目標や計画を立てて周知や訓練、設備や備品の管理などを実施し、定期的に評価を見直して実効性を高めていきます。



BCP の配置場所 配置場所を記入し、差し替えが必要などに見落としがないようにします。

設置場所	
各ユニット	

更新日と内容

更新日	ver	更新内容
R6.4.1	0.0	暫定版

様式 ※施設で用意して BCP に添付

NO	様式名
様式 1	ハザードマップ
様式 2	備品一覧
様式 3	職員連絡先一覧
様式 4	利用者連絡先一覧
様式 5	関係業者一覧
様式 6	年間計画

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保



2021年7月 初版第1刷発行

冊子名：入所施設向け業務継続計画（地震編）

発行者：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
株式会社 CoAct

本書を無断で模写することは法律で認められている場合を除き、
著作権及び発行者の権利の侵害になります。

災害時備品一覧

区分	品名	数量	単位	備考
備蓄水	飲料水	18	ケース	2ℓ 6本入 (1人3ℓ/日)
	飲料水 (期限切れ)	18	ケース	飲料以外で使用
備蓄食	米	6.75	kg	10kg 1袋 (5合/食)
	お吸い物	72	食	2パック (50入)
	レトルトカレー	24	食	
	レトルト親子丼	24	食	
	カップうどん	24	食	
	カップ焼きそば	24	食	
	おやつ	72	食	キッチン在庫
	茶パック	30	個	倉庫在庫
	コーヒー類			キッチン在庫
調理器具	カセットコンロ	4	台	2台不足
	カセットボンベ	72	本	1人1本/日
	鍋 (炊飯用)	2	個	
	鍋 (湯せん用)	2	個	
	やかん	2	個	
	しゃもじ	2	個	
	おたま	2	個	
	ラップ	10	本	50×100m
食器類	どんぶり	144	個	24名×2食×3日
	汁椀	216	個	24名×3食×3日
	割り箸	144	膳	24名×2食×3日
	スプーン	144	本	24名×2食×3日
	紙コップ	360	個	24名×5食×3日
衛生用品	おしり拭き	720	枚	10パック (72枚入)
	ゴミ袋	100	枚	10パック (10枚入)
	ペットシート			
	パット類			各自在庫
照明	ランタン	10	台	6台不足
	乾電池 (単三)	90	本	9パック (10本入)

購入検討品

区分	品名	数量	単位	備考
	コンテナボックス	6	個	
	冷房器具			
	暖房器具			
	担架	1	台	
	発電機			
	ポータブルバッテリー			